

微粉末造粒技術とフラックス開発力の融合で、0201部品を実装

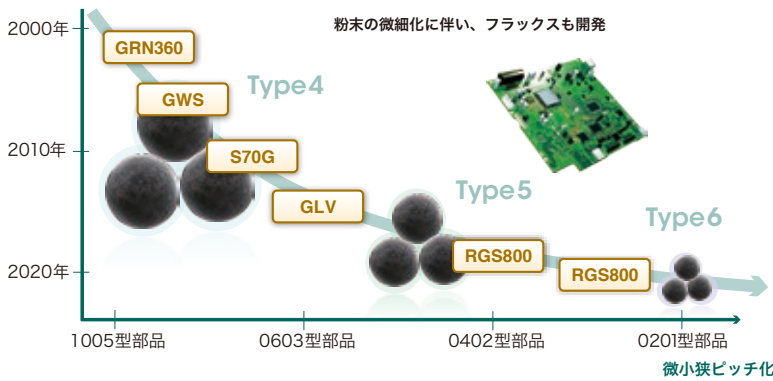
特長

- Type8製造を可能とする造粒技術で、高品質Type6を製造
- 微粒子化による酸化の増大を、活性力を向上したRGS800で解決
- 高度な粘弾性制御技術で良好な印刷性を確保、0201の実装を可能に

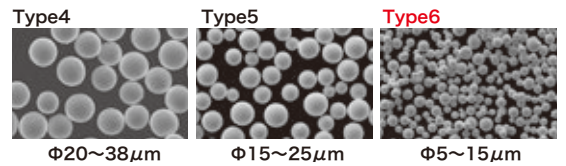
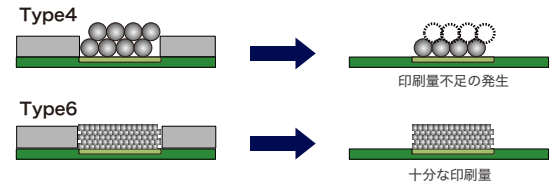


仕様

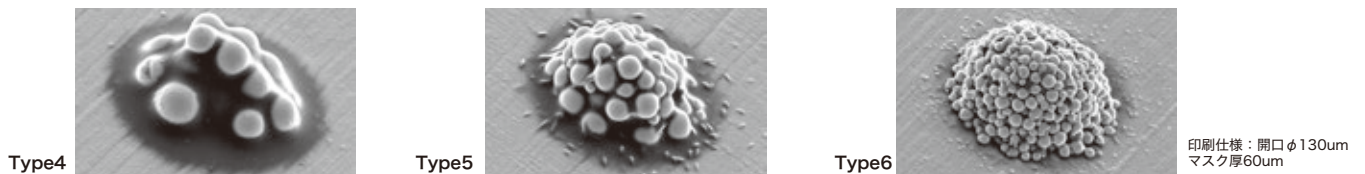
- 部品の小型化に伴い、はんだ材料も微粉末化



極薄微小パターンでの印刷は、従来のはんだ粉では充分なはんだ量を得られません

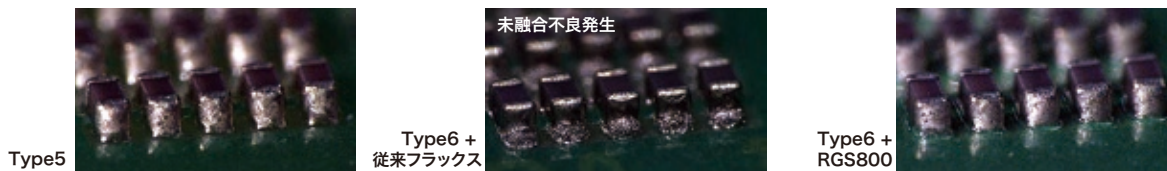


- Type6微粉末の採用で、極薄微小パターンでも充分なはんだ量を確保します



- RGS800は活性力を増加させ、リフローでの再酸化を抑制、Type6粉に最適化しました

表面積の増大で酸化膜も増大 (Type5→Type6で2倍)、従来のフラックスでは溶解性が不足



- Type6に最適化されたRGS800で良好な印刷性と溶融性を発揮、微小部品の実装を可能に

